

経済・経営・情報をマルチに学び、
自分の可能性を目覚めさせる。

経済情報学科



Economics, Management & Information Science





経済情報学部長

荒井 貴史

経済情報学部には、経済コース、経営コース、情報コースと3つのコースがあります。3年生からコースを選択して、各コースの専門分野をより深く学びます。その前の1年生、2年生では、教養教育科目を履修しながら、同時に3コースの専門基礎科目を学びます。皆さんが、どのような専門分野を究めたいか、この期間によく考えましょう。2年生からは、専門分野をより早く学びたい優秀な学生を対象として、特別演習が用意されています。履修には、GPAなど一定の条件があり、選抜アドバンスクラス的な位置付けです。特別演習を履修することで、3年生からの専門演習や4年生の卒業研究で、より高度な専門的な課題に取り組めるでしょう。また、本学では国際交流も盛んになっていますので、意欲のある皆さんは、ぜひ海外の提携校に留学して、語学力アップとともに国際感覚を身につけてはいかがでしょうか。幅広い視野と深い専門的知識をもって、国際社会でグローバルに活躍する人材が巣立つことは喜びであります。

現在、経済情報学部は、経済、経営、情報の3分野のいずれにも精通する人材を社会に多く送り出しています。これは今後とも変わらない本学部の特色です。新しいと思われる事も、過去に人類が切り拓いてきた専門的な知を土台として開花しているものです。目先の事だけ見ていては、本質を理解できません。本学部では、学生の皆さんに、その土台部分を学び、その上で新しい事にもチャレンジできるように、カリキュラムによる体系的な学びとゼミナール担当教

員等の指導を通じたサポートをしております。

大学4年間は、学問の研鑽のほか、サークルや部活動を通じた人間関係の学びも大切です。学生時代の友は、生涯の友になることもあるようです。学部学科を超えて、個性的な多くの友人ネットワークを育み、大学生活をより楽しみましょう。アルバイトやボランティア活動も含めて、皆さんの経験は、どんな些細なことも将来何かしらの糧になります。何事にも、誠心誠意取り組んでください。

最後に、入学してから卒業までの間に実際にこれまでの学生が取得している資格のいくつかを紹介します。高等学校教諭一種免許状(商業)、高等学校教諭一種免許状(情報)などの教育職員免許状のほか、スキルアップに役立つ以下のような資格を取得している学生がいます。税理士試験(1科目)、日商簿記検定(1級)、ファイナンシャル・プランニング技能士(2級)、情報処理技術者試験(ITパスポート、基本情報技術者)、行政書士、宅地建物取引士、秘書検定(1級)などです。今後の学修計画にそれらの資格取得を目標の1つとして組み込んでみてはいかがでしょうか。

アドミッション・ポリシー

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特徴としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。そのために経済情報学科では、入学までに

「基礎学力である高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の知識」

を身につけていることが必要です。特に、

問題分析力につながる「基礎的な数学力」

情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」

を身につけていることを重視しています。

このような教育理念・目標に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- 1) 日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- 2) 経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- 3) 現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原理を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

経済情報学科の行事を一部紹介します。

学生主体の新歓企画。少人数を強みにしたユニークなゼミ。

勉学の成果を凝縮した研究発表。

4年間を通してゆたかな時間が流れていきます。



2年生が主体となって新入生を歓迎。3年生や4年生も駆けつけます。多様な催しを食事とともに楽しみながら、チューター・グループ(1教員につき10名ほどの初級ゼミ)ごとのテーブルで、まずは気軽に自己紹介してみましょう。

4月
新入生歓迎会

街中ゼミ(通年)

5月
スポーツ大会

8月
オープンキャンパス



オープンキャンパス



スポーツ大会

10月
特別講義
キャンパスツアー

1月
卒業論文提出
公開ゼミ研究発表会

3月
卒業式

3年生になるとゼミ(専門演習)が始まります。

ゼミの最終目標は4年生になってからまとめ上げる卒業論文です。現役の銀行員の方など、外部講師を招いての特別講義への参加や、街にくり出すことで視野を広げたり、異分野の人と交流しながら研究テーマを探究しましょう。



公開ゼミ研究発表会



卒業研究発表会

JR尾道駅前にあるしまなみ交流館で開催する、卒業間近の4年生による研究発表会で、一般の方にも公開しています。教員も油断できないレベルに達した選りすぐりの研究成果を目の当たりにすることのできる、経済情報学科における学びの集大成と呼べる場です。



卒業式

経済学では、労働、資本、貨幣、情報等が社会の中を循環する様子（経済循環）を説明するための理論を作り上げていきます。家計や企業などの個別経済主体の行動を分析するミクロ的視点と、一国全体での出来事を考察するマクロ的視点があります。

このような視点を軸として金融論、財政学、国際経済学などを履修することによって、私たちの生活にかかわる諸問題を把握・分析するための問題発見能力と企画分析能力を磨くことが出来ます。これらは、大学院進学や公務員試験、そして企業への就職で必要とされる能力です。

大学進学を希望する人たちも、数年後には自分たちが経済社会を運営する立場になります。そのために経済コースでは、規制緩和や年金といった制度・政策、日本と世界の経済史、国際貿易などの世界情勢、などについての理解を深めることを目指します。さらに、このような経済問題を客観的に検証するためには経済データを統計的に分析することが必要であるため、情報処理に関する基礎的なトレーニングも行います。

経済倫理を身に付け、世界や国といった全体を見渡すと同時に、経済主体として家計や会社を経営する能力を身に付けたグローバルな人材を育成します。

想定される進路

1. 行政機関におけるICTを活用した企画、政策の立案、実行
2. 企業、行政機関における情報活用システムの企画、事務、営業
3. 金融機関における業務





金融マクロ理論

経済コース長・教授

河野 洋

金融システムの在り方について理論的に研究しています。特に、金融仲介機関と市場のどちらが金融システムをより効率的かつ安定的に機能させるかに関心を持っています。又、情報、金融ネットワーク、政府規制等がマクロ経済に及ぼす影響についても興味を持っています。3・4年生のゼミでは、日本の金融制度や金融政策について基礎知識を確立し、日本の中長期的経済問題に対してどのような対策が必要であるかを議論しています。



公共経済学

経済コース・教授

荒井 貴史

政府による消費者や生産者に対する課税や補助金が、資源配分にどのような影響を与えるのか。価格や取引に対する規制が、社会厚生にどのような影響を与えるのか。政府の市場経済での役割はどのようなもので、その役割の理論的根拠は何か。公共財、外部性、不完全競争、情報の非対称性など、厚生経済学の第1基本定理（完全競争市場における均衡配分はパレート効率的である）の前提が損なわれている「市場の失敗」のケースを公共経済学は理論的に分析します。





マクロ経済学

経済コース・教授

井本 伸

マクロ経済学とは、全体としての経済、すなわち日本全体の経済を分析対象とする研究分野です。経済学では、全体（マクロ）と個人（ミクロ）を分けて考えます。なぜなら、経済問題には、「個人としては良くても、経済全体としては良くない事」や、「個人ではどうしようもない問題」があるからです。個人がどのように行動すべきかだけを考えていては、経済全体の問題は解決できません。



環境経済学

経済コース・准教授

岡本 隼輔

岡本研究室では環境経済学を軸に研究に取り組んでいます。この分野では廃棄物問題や地球温暖化問題について、経済学の視点を交えて定量的に捉えていきます。例えば、製品を作る際に素材の採掘や加工、流通などあらゆる段階で環境負荷が発生しますが、それら全てを考慮して計測していくライフサイクルアセスメントの概念もその一つです。また、ワークショップや工場・現場見学なども実施することで、机上の学習と現実社会とを結びつけながら問題解決能力を養っていきます。



島根原子力館への現場見学風景



財政学

経済コース・准教授

金田 陸幸

財政学の役割は政府の活動を経済学のアプローチを用いて、考察することです。財政学では政府の支出のことを歳出、政府の収入のことを歳入と言いますが、歳出面、歳入面の双方に焦点を当てることが重要となります。ゼミナールでは、政府が実際にどのような制度を行っているのかを学んだ上で、その制度が経済学的に望ましいかどうかについて効率性、公平性の双方の観点から評価し、学生同士で議論を行うことで、自発的に考え発表する場を設けます。



金融論

経済コース・准教授

神崎 稔章

金融の世界は、多くの進歩と制約を経て、現在に至っています。証券化やデリバティブ等の金融革新がもたらす資金の集中や規制のバランスは重要です。ゼミナールでは、自らが主体的に議論できるスタートにたてるにはどうすればよいのかを、経済学と関連付けて進めます。1冊のテキストのみを鵜呑みにせず、社会の在りように疑問を持った方が出てくることを期待します。従って、ディベート大会や学外での経験もゼミナールの特徴です。





社会保障、社会政策

経済コース・准教授

佐藤 沙織

人々の生活を支える手段は様々にありますが、戦後日本ではとりわけ医療がその中核を担ってきました。そこで「なぜ日本では医療に偏重して支える仕組みが発展したのか」という課題の究明から、医療だけに偏らないこれからの社会の支え合いの仕組みを展望することを目指しています。

ゼミナールでは、毎年、医療や福祉の現場で調査合宿を実施しています。わからないことを良く知っている人に「聞く」ことで、社会を「知る」楽しさを実感できる機会を提供しています。



吉和地区の住民との交流



卒論報告会



社会思想史、経済学史

経済コース・准教授

林 直樹

経済学の歴史（誕生までの前史、初期の歴史、中期以降の歴史）を中心にしつつ、その前提となる様々な思考のフレームワーク、いわゆる「思想」の歴史を研究しています。経済学が誕生したのは18世紀イギリスでのこととされていますが、経済をめぐる思想自体は古代から存在しました。しかし、経済思想が政治思想や倫理思想と切り離されて、近現代の社会をリードする経済学として結実するまでには長い道のりがあり、それはいまでも完結しているとは言えません。この大きな問題を皆さんとじっくり考えてみたいです。





応用ミクロ計量経済学

経済コース・准教授

堀江 進也

被災者の生活再建、災害の復興資源の配分について研究しています。被災人口が莫大であったとき、被災地域が非常に広範囲にわたる場合、誰から・どこから優先的に支援すべき・復興すべきでしょうか。人の人生を左右する問題ですので、経済学の理解と応用には正確さを求められます。また、「現場」を知ることも重要です。このバランスを持ちつつ、自分が社会で重要なひとりであることを認識した人材を育成したいです。

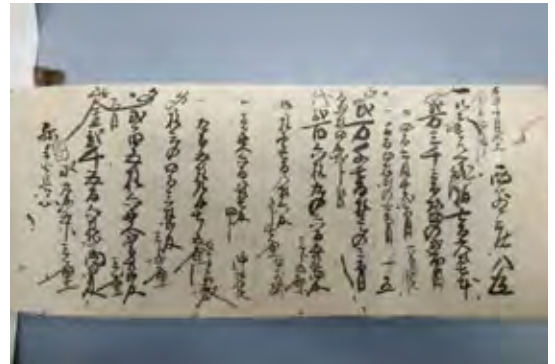


日本近世・近代の流通経済史

経済コース・准教授

森本 幾子

研究室では、地域経済の歴史について学ぶことを主軸に据えています。毎年、尾道・宮島・鞆浦など身近な瀬戸内の港へ実際に足を運び、フィールドワークを行うことによって、その歴史的経緯や特徴について理解を深めています。また、手習い本をはじめ当時の仕切状や帳簿などの古文書の解読を通して、日本近世・近代の商取引の特質を学び、現代と比較しながら考察しています。



「明治二年肥料仕切帳」(徳島大学附属図書館所蔵山西家文書)より

経営学は、人、もの、マネー、情報などの経営資源を活用し、市場ニーズに応じて良質な製品とサービスを消費者へ経済的に提供するための企業組織経営の学問領域です。この専門領域を内容とする当経営コースは、経営学の基本とする経営戦略、経営組織、マーケティングの理論と方法論及び経営分析、財務・税務管理、現場管理の実務、そして経営学の史的展開を体系的に学習し、将来には企業組織の事業あるいは行政組織のプロジェクトの推進を担うことができる人材育成を目指します。

上述の目標を達成するために、経営コース中心の専門分野教育を特化し、必修科目及び選択必修科目を再編成しています。このコース所属の学生は、マーケティング戦略と経営組織の理論を主とする諸経営科目を縦断的に、経済学や情報科学などの科目を横断的に学習することによって、経営の基本的な知識と技法を的確に理解できる能力を持ち、仕事を効率的に進めるための幅広い知識とスキルを身につけて、経営の視点からビジネス上の諸問題を整理・分析・解決できる人材となることが期待されています。

想定される進路

1. 企業マネジメント全般への参画
2. 企業における経営情報を活用した経営組織の在り方や経営戦略の立案、実行
3. 企業における経営情報システムの立案、実行





マーケティング、経営戦略

経営コース長・教授

小川 長

経営学は「良いことを上手に実現するための学問」とであると定義できます。そうすると、経営を考えることは次の二つのことを考えることになります。一つは、大方の人が経営学だと思っている「上手に実現するための方法」ですが、もう一つ大事なことがあります。それは、「良いこととは何か」を考えることです。実現すべき良いことを考えず、方法ばかり考えるのは本末転倒です。本研究室は、このように経営を根本から考えていきます。



経営工学

経営コース・教授

邵 忠

近年サービス業のグローバル化が急速に進展し、民族や文化、商慣習及び言語の違いによって、サービス品質には大きな格差が存在しています。当研究室では、提供者でありながら享受者でもあるゼミ生各自のサービス経験を踏まえて、グローバルサービスマーケティング、サービス品質及びマネジメントの理論と事例を中心に勉強します。また日本独特のおもてなし文化を内包する日本のサービスの良さと高品質を追求するあまり、生じた非効率性と低収益性問題を一緒に考えてみたいです。





ドイツと日本の経営学説、 企業倫理の理論と実践ほか

経営コース・教授
西村 剛

ゼミのテーマは「ワーク・ライフ・バランス (Work Life Balance) の理論的・実践的研究」です。「仕事と生活の調和」について学んでいきます。現在「働き方改革」が注目されるなかで、日本の雇用慣行は徐々に変化しつつも依然として労働者に過酷な労働条件を突きつけています。例えば長時間労働、過労死・過労自殺、正規－非正規労働者の処遇格差など。こうした過酷な労働条件のもとで労働者はどのように企業と関わり、どう対応していくべきかを探っていきます。



健康・スポーツ

経営コース・教授
藤岩 秀樹

教養教育の健康スポーツ科目を担当しています。健康スポーツ科目は、「健康スポーツ学」(講義)、「健康スポーツ実習Ⅰ」、「健康スポーツ実習Ⅱ」、「野外スポーツ実習」からなっています。身体運動やスポーツを媒介に、生活の基本である健康・体力に関する正しい知識と、健康づくりの具体的方法に関する知識や実践能力の獲得をめざしています。





租税法

経営コース・教授

前田 謙二

税金は公共サービスを提供するためなどに必要であり、国会で決められた法律（税法）に基づいて納められます。人間は生きていくために日々様々な取引を行っていますが、すべての取引が税法と関わっています。税法を知らないために損をすることもあります。では、税法にはどのようなルール（概念・条文・判例）があり、どのような問題があるのでしょうか？ 租税法の研究とはそれらの問題解決や経済の変化に応じ税法はどのようにあるべきかを考えるものです。



天文学、宇宙物理学

経営コース・准教授

川口 俊宏

ブラックホールが宇宙の歴史に果たした役割を研究しており、天文・宇宙・物理に関する授業などを担当しています。本校での唯一の自然科学分野の教員として、論理的思考力を鍛える教育を目指しています。天文・宇宙の授業を専門家が担当しているのは公立・私立大学の約1割です。天文部で活動していたり、宇宙に興味を持っている高校生が大学生になった時に、一緒に学んでいけたら嬉しいです。



銀河の中心部にある
巨大ブラックホール
周辺の模式図



2018年8月に市民の方々向けに開催した講演会の様子。「銀河のでき方」「はやぶさ2」について解説されました。



企業とNPOの協働、 ソーシャル・イノベーション

経営コース・准教授

後藤 祐一

環境問題や貧困問題など、様々な社会的課題の解決に向けて企業やNPOなどが様々な取り組みを行っています。このような社会的課題の解決に向けた企業やNPOの取り組み、あるいは企業とNPOによる協働が、「なぜ」行われるのか、「どのように」行われているのかを研究しています。



会計史

経営コース・准教授

津村 怜花

複式簿記は13～14世紀のイタリアで誕生し、世界各国に伝播しました。日本にも明治初期に「輸入」されます。なぜ複式簿記は各国に伝播し得たのでしょうか？このような疑問を探究することで、会計史は現在や未来の会計の問題等を考えるうえでの視点を提供するとともに、歴史を解き明かす、魅力ある研究分野です。

右の書籍・論文から、会計史の知識や会計史研究の魅力を知っていただくと幸いです。





基本的人権、憲法

経営コース・准教授

溝淵 裕

教養教育科目の法学概論、日本国憲法を担当しています。日本国憲法99条は、天皇と公務員に憲法尊重擁護義務を課しています。平成天皇は、憲法の定める国事に関する行為のみを行う(4条1項)だけではなく、「国民統合の象徴」として、戦死者を慰霊し、被災者を慰問することが、憲法を尊重することになると考えました。同性婚の届出を受けた戸籍係、訴訟を受けた裁判官も、婚姻を文字通り「両性の合意のみ」に基づく(憲法24条1項)として請求を退けることが憲法を尊重することになるのか、それとも家族の在り方の変化に対応することが憲法を尊重することになるのか真剣に考えることが求められていると思います。このような問題について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



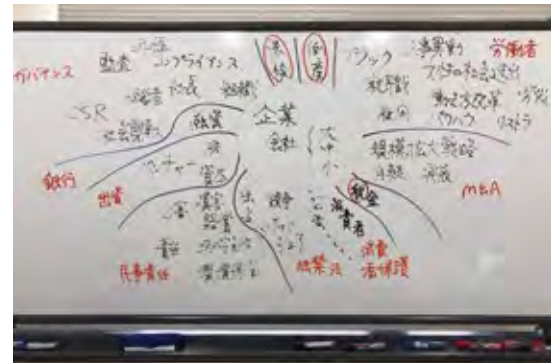
会社法(コーポレート・ガバナンスを中心として)、金融商品取引法、アメリカ法

経営コース・講師

王 佳子

企業の中で最も多いのが「会社」ですが、アメリカのシカゴ学派は、会社を、「契約の束」と定義しています。この考え方は、会社が無数の契約を通して、組織を形成し、さまざまな取引活動を展開しているという実態をよく捉えています。それでは、会社は、契約を結ぶことでどのような権利を有し義務を負うことになり、その権利を実現するためにはどのような手段を採ることができ、義務を履行しない際に誰がどのような責任を負うことになるのでしょうか。

本研究室は、具体的な事例をもとに、こういった問題について検討をしています。





管理会計

経営コース・講師

吉田 政之

管理会計は、財務会計と異なって企業内部のマネジャーに対して会計情報を提供し、経営上の意思決定に役立てられています。そのため、管理会計情報は特定の規則や原則に縛られることなく作成され、企業や組織によって異なる情報が用いられるという特徴をもちます。私はそのような管理会計情報と、株主などの企業外部者への報告目的で作成される財務会計情報との関係性について研究しています。



現代社会の基盤となっている情報技術の基本原理を学び、経済社会における課題を解決する情報システムの設計から運用までを担当する能力を身につけることを目指します。情報産業をはじめとして、一般企業内でも、情報技術に裏付けされた、経済・経営・数理分析に強い人材を育成します。

日本の社会ではマーケット（経済）とビジネス（経営）が分かるIT技術者やコンサルタントが不足しています。例えば、ユーザ企業の置かれている市場や経営の特徴を分析し、ユーザ企業の弱みを補強し強みをさらに強化するITソリューションを提案したり、自社の経営戦略に基づいてIT戦略を立案し、それを実現する情報システムを設計するといった人材です。このようなことは工学系の情報学科を出たIT技術者には難しく、経済・経営も学ぶ本学科の情報コース卒業生が活躍できる場だと思えます。

将来このような仕事に就く人材の育成を目指して情報コースのカリキュラムは設計されています。その情報関連科目は大きく3種類に分かれます。1つ目は計算機を用いて情報を適切に処理する能力を養う科目です。課題レポートや卒業研究など大学での学習・研究活動や、卒業後に社会における様々な活動において必要となる知識とスキルを習得する科目です。「情報活用基礎」、「情報科学入門」などの科目があります。2つ目は情報分野のより専門的な科目です。プログラミング言語によるソフトウェアの作成方法や、計算機ネットワークの仕組みや特徴、情報システムをいかに設計するかなど、情報科学の様々な分野を学習します。「プログラミング」、「ネットワーク科学」、「情報システム設計」などの科目があります。3つ目は経済経営分野と情報分野が重なる領域の科目です。異なる学問が合わさることで生まれた新しい学問を学びます。「経営シミュレーション」、「経営情報論」、「経済情報論」などの科目があります。

想定される進路

1. 情報関連の企業・組織における次世代のシステム・サービス・技術の研究開発
2. 企業・組織の経営戦略に基づいた、情報技術を駆使したIT戦略の提案・策定とその実現の推進
3. 企業・組織におけるIT戦略実現のための最適な情報システムの設計とその構築の指揮





情報システム設計ほか

情報コース長・教授

有吉 勇介

情報システム設計とは、ユーザの「こんな情報システムが欲しい」という要望を分析整理して、仕様書と呼ばれるソフトウェアの設計図にまとめ上げるまでの一連の作業のことです。最近の日本では、仕様書は日本人が作り、プログラミングはインドやベトナムなどで行う国際分業が多くなってきています。その結果、日本のIT系企業ではプログラマよりも、仕様書づくりに関わる人が増えてきています。そのため情報系の大学ではプログラミングと同じぐらいに情報システム設計の勉強が重要になってきています。

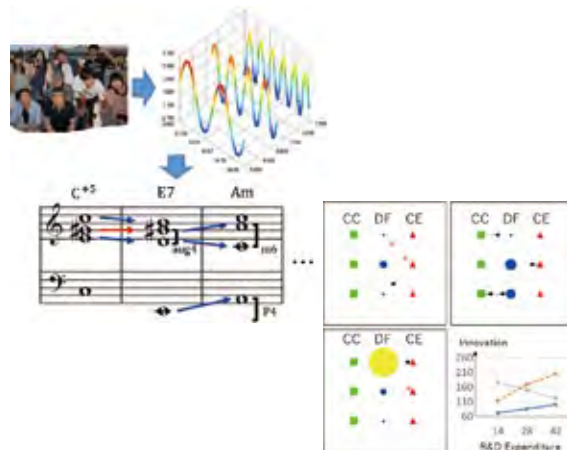


音楽情報処理、 在庫管理モデルほか

情報コース・教授

川勝 英史

ゼミの研究テーマについては、担当教員の研究テーマに限定せず、システム開発、Excelによるデータ分析、マルチエージェントシステム、人工知能などに関連するものであれば、柔軟に対応することができます。良好な結果が得られた学生さんは、学会で発表したり、大学院（広大、北陸先端）に進学したりしています。希望者には、地域活性化の一環として、商店街でのイベントの企画・運営に携わって頂くこともできます。





観光振興に役立つ データベース連携型 Webシステムの開発

情報コース・教授

高山 毅

2008年の観光庁設置、2020年の東京五輪等を契機とし、「観光立国ニッポン」を実現する様々な取り組みが進行しています。高山ゼミではこれまでに、たとえば以下のようなシステムを開発してきました。

「坂道のマイナス要素を緩和するシステム」「ビンゴゲームを用いた回遊・再訪促進システム」「観光資源の特性分類を利用した広域観光地選定支援」「観光のための情報推薦の高度化」…。

授業やゼミで力を貯め、社会で実際に役立つシステムを開発しましょう。

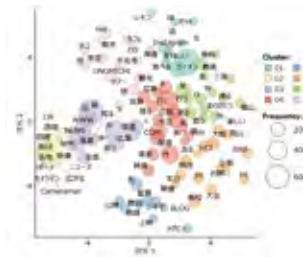


ビッグデータ、人工知能

情報コース・准教授

木村 文則

文章(テキスト)を中心とした「ビッグデータ」の分析が主な研究テーマです。最近注目されている「人工知能」にも取り組んでおり、テキストだけでなく画像も対象にしています。また、通常のゼミとは別に「人工知能勉強会」を開催し、関心のある学生がゼミの垣根を超えて集まり、協力しながら学んでいます。新しい技術についても積極的に学び、社会で活躍できる力を蓄えてもらいたいと思っています。



尾道を含むツイートを多次元尺度法で分析

2015/11/1 ~ 2015/12/13
ツイート数 49,170



工場のベルトコンベア上の小魚





数学教育、情報教育

情報コース・准教授

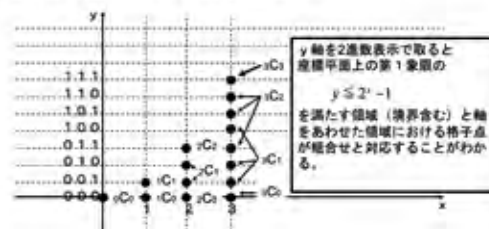
南郷 毅

私の研究室では、学習指導要領や教育に関する社会的背景を理解した上で、教育に関する諸問題を様々な角度から検討します。例えば、「教科間の関連を図る指導が重要である」という命題に対して、「数学と情報の学習事項を関連させた教材」を開発したりします。図で示しているのは、情報で学ぶ「情報のデジタル表現」を活用し、数学で学ぶ「組合せ」を解釈した教材の一部です。2進数を活用し、組合せを座標平面上で表現しています。

最近では、IT企業でも教育関連の案件で教育への理解が求められるようです。教育のわかるIT技術者になってみませんか？

2進数表示を活用した組合せの解釈

■ 座標平面上に表現された組合せ



情報ネットワーク、機械学習

情報コース・准教授

本田 治

ゼミでは情報ネットワークを主なテーマとしていますが、学生の研究テーマとしては加えて機械学習もテーマとしています。情報ネットワークの研究では、ネットワーク上で効率良く通信をしたい、通信の品質を制御したい、などの要求をどのようにすれば実現できるのかについて扱っています。機械学習の研究では、小説の様々な特徴をどのようにすれば自動的に抽出できるのかなどについて扱っています。





解析的整数論

特任講師

宮川 貴史

解析的整数論という分野の多重ゼータ関数について研究しています。ゼータ関数とは、素数の背景にある関数で

$$\zeta(s) = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^s} = 1 + \frac{1}{2^s} + \frac{1}{3^s} + \cdots \quad (\operatorname{Re}(s) > 1)$$

という形をしています。1と自身でしか割り切れない自然数を素数と呼んでいますが、素数の列 2,3,5,7,11,13,17,19,... は未だ規則性が解明されず、関連としてリーマン予想という最大の未解決問題が残されています。

リーマン予想 (懸賞金 100 万ドル)

$$\zeta(s) = 0 \quad (0 < \operatorname{Re}(s) < 1) \text{ ならば } \operatorname{Re}(s) = \frac{1}{2} \text{ である (?)}$$

この予想解決に向けた試みによりゼータ関数の理論は大きく発展し、そこで新たに生まれた多重ゼータ関数の理論が注目されています。



2019年度卒業論文(各ゼミナールの代表論文)

- 観光立国日本における観光ビジョン
- Gherkinを用いた振る舞い駆動開発によるアプリケーション設計
- 旅行・観光動機の実態調査と尾道市における旅行・観光集客方法の提案
- 西日本豪雨が尾道市に与えた被害～備後地域に与える被害設計～
- 企業におけるO2Oの取り組みに関する研究
- 島根県におけるUIターンの要因と支援施策
- 対数正規分布およびJohnson SL 分布に関する適合度検定
- 長期金利に対する時間軸効果の検証
ーテキストマイニングによるアプローチー
- 芳賀矢一『日本人名辞典』からの歴史人物情報の抽出および情報構造化
- 日本宿泊業の設備環境評価におけるネット口コミ分析へのテキストマイニングの適用
- 博物館の能動的鑑賞を支援するシステム
- 老舗企業の存続要因に関する一考察
ー松坂屋ならびに三越を事例としてー
- 社会の多様性を性的マイノリティから考える
- SNS時代における消費者行動モデルの批判的検討
- 深層学習を用いた小魚に含まれる異物の位置検出
- 粉飾決算の防止策に関する一考察
- 日本の死刑制度について
- 東広島市の歴史～さらなる発展を目指して～



経済コース卒論発表

「長期金利に対する時間軸効果の検証：
テキストマイニングによるアプローチ」

神崎ゼミ 細川 裕矢

私は、時間軸効果の有無に関して、テキストマイニングによるアプローチを用いて検証を行いました。具体的には、日本銀行が公表している展望レポートというテキストに対してCPR法によるテキストマイニング技術を用いることで、時間軸政策を定量的な分析に利用し、時間軸効果の有効性に関して経済的な観点から分析しました。

ファイナンス分野にテキストマイニングが用いられる流れがあるように、将来的には他の分野でも複合的な研究が増えていくものと考えられます。今回の卒論発表会では、多くの方の前で自分の研究成果を発表するという貴重な体験をさせて頂きました。今回得た発表経験を、今後も活かしていきたいと思っています。



経営コース卒論発表

「企業におけるO2Oの取り組みに関する研究」

小川ゼミ 駒城 優里

私は、インターネット広告費が毎年増加し、企業がO2Oの取り組みに躍起になっていることに疑問を抱き、本研究に取り組みました。

まず、O2Oについての現状把握と先行研究のサーベイ結果を踏まえた上で、アプリやネット上で配信されるクーポン、および、SNSやネット上の口コミ・レビューに関するアンケート調査を行いました。その結果、利用者をクーポンや口コミ情報をきっかけに商品を購入するタイプと、自らがもともと欲しい商品を購入する際に利用できるクーポンなどがあれば利用するタイプに分けることができたので、それを基に両者の比較分析を行いました。分析の結果、O2Oの効果を高めるためには、企業は後者の顧客の期待を裏切らないように商品や実店舗の魅力の向上に力を入れる本来的な取り組みを必要とし、前者の顧客を上記の魅力そのものによって取り込む戦略が大切だという結論に至りました。

今回の発表会では、他コースの学生の研究発表を聞いたことや、地域の方からの鋭いご意見がとても勉強になりました。研究と発表を通じて学んだことを、今後社会でも生かしていこうと思います。



情報コース卒論発表

「観光ポテンシャルマップとスポットの静的特性の融合による雨の日観光プランニングシステム」

高山ゼミ 山野 恵理子

私は、観光ポテンシャルマップの雨の日の観光支援機能は現状では充分とは言えないと考え、卒業研究として観光先での雨に対応したシステムを提案・開発しました。

今回の発表会では他のコースの発表を聞くこともでき、貴重な経験をさせていただきました。人前での発表は未だに得意ではありませんが、自分のシステムに関してだけでなく、観光情報やシステムについても知ってもらえる機会に関われて、良い経験になりました。今まで学んできたことをこれから先も活かしていければ良いなと思っています。



情報コース卒論発表

「対話型周遊プラン作成システム CT-Planner の柔軟性の拡充」

高山ゼミ 伊豆田 皓平

私は、個人の都合や希望をふまえて周遊プランを作成するツールとして知られるCT-Plannerを、よりユーザにとって使いやすいようにするシステムの開発を行いました。

今回の卒業論文発表会は、一般市民の方々や他のコースの方々に成果を発表する場であり緊張しました。しかし、発表後に感想や意見をいただき貴重な経験をすることができました。行ってきた努力の成果を一度の発表で完全に伝える力は、社会でキャリアを積んでいくうえで重要だと考えるため、これからも精進していきたいと思います。



地域貢献



(上) 木村・本田研究室受託研究
「AIを用いた水産塩干物製造における異物選別」
(右) 小川研究室出店「模擬株式会社尾商デパート」



経済情報学科では、経済・経営・情報のそれぞれの分野で、地域に寄り添う教育研究活動に取り組んでいます。市民の皆様にお集まりいただいたの歴史(地域史)学講座や、地元企業と密に連携した産学共同研究、元気な商店街をさらに賑やかにする企画、そして学生主体のジャーナリズムなど、活動の幅は年々広がり、また多岐にわたります。



森本研究室主催「初心者対象古文書講座―「女大学絵抄」を読む―」



佐藤研究室協力「尾道しまなみ新聞」

少人数教育・ゼミ活動

尾道市立大学の特色として「少人数教育」を挙げることができます。経済情報学科は他の二学科に比べて多人数ですが、教育の場を複数かつ多層に分けて提供することで、多様なニーズに応えつつ、きめ細やかな指導ができるように工夫しています。1年次の基礎演習は全員が履修する必修科目で、大学での学びのイントロとなります。3年次から4年次にかけて履修する専門演習（ゼミ）も必修科目です。指導教員のもと、全員が卒業研究を仕上げなければなりません。厳しいようですが、教員が一人ひとりの学生とそれだけ真剣に向き合うということです。他に特別演習も用意しています。教わるだけでなく教員と共に研究に悩み、かつ研究を楽しむ場として、この演習を活用できます。学生の「やる気」という最大のニーズに応えて、経済情報学科は学びの場を惜しみなく創出していきます。



基礎演習（1年次）



特別演習（2年次～）



専門演習 Ia・Ib（3年次）



専門演習 IIa・IIb（4年次）